「薬品チェック」

厚生省コードの変更は、毎年 4月と9月と10月行われます。

既に、9月30日で期限の切れた厚生省コードは、10月分レセプトの請求(11月に提出)では使用できないコードです。必ず厚生省コード(電子レセ用医薬品番号)のチェックを実施

インストール方法

重要注意事項:処方入力のプログラムは必ず終了させてからインストールします。

CD-ROMを印刷用PCにセットしインストールします。

CD-ROMの中身は、薬品写真・QRコード・厚生省コード薬価・最新プログラムが入っています プリントサーバー用PCにセットし、マイコンピュータを開き、CD-ROMドライブを開きます。

Photo1 Photo12 Photo3 PhotoQR がますINST.bat 可RESEP30.EXE ファイル フォルダ ファイル フォルダ ファイル フォルダ ファイル フォルダ 1 KB MS-DOS バッチ ファ...

2,685 KB アプリケーション 1,564 KB Microsoft Access ...

INST.bat を実行することで データが書き込まれます。

インターネットからダウンロードする場合 http://iijima-p. sakura. ne. jp/YAKUZAI/RESEPM. htm 写真関係(2009/09/21更新)はこちら

説明書関係抜粋はこちら(データバックアップ方法追加)

プログラム関連は <u>こちら</u>

プリンターの交換方法について

キャノンIP4700のプリンタードライバーでWin2000の場合、サービスパック4のインストールが必要です。 デスクトップのマイコンピュータを左クリックで、プロパティーで確認できます。インストールされていない場合、インストールは<u>ここ</u>

RESEP30.EXE2009/10/05更新プログラム

更新日付2009/10/2(厚生省薬 価更新)

重要 保険者番号の記号が1桁抜けてしまうミスがありました。お詫び申し上げます。 10月1日時点でミスがわからずおりました。

外用薬で混合する薬品で、使用回数を O として設定した場合、薬袋エラーとなってしまいました。ご迷惑をお掛けしました。修正しました。

手帳印刷で、メモ入力文を印刷する機能を取りやめました。

厚生省薬価データ更新されました。10月2日?? 1日更新されたデータから新規登録に変化ないけど取りあえず更新しました。

ダウンロード用のページが表示されます。必要なファイルをダウンロードしインストールします。

ダウンロード先は、ご自分でわかる場所が良いと思います。どこでもOKです。

直接、薬局のPCにダウンロードできない場合は、USBメモリーにダウンロードし薬局でインストールします。 容量は $6\sim10$ M程度で、その時に必要なデータ量により、容量は異なります。

USBメモリー等に保存し、薬局でインストールします。

インストールは、プリントサーバー側PCから必ず行います。USBメモリーをセットし、

電子レンジのアイコンの RESEP 30 をダブルクリックすると、C ドライブに (instbas 33 ホルダー)

解凍し、必要な項目を自動コピーします。

電子レセで必要なアクセスフォーマットや請求書フォーマットもこのホルダーにあります

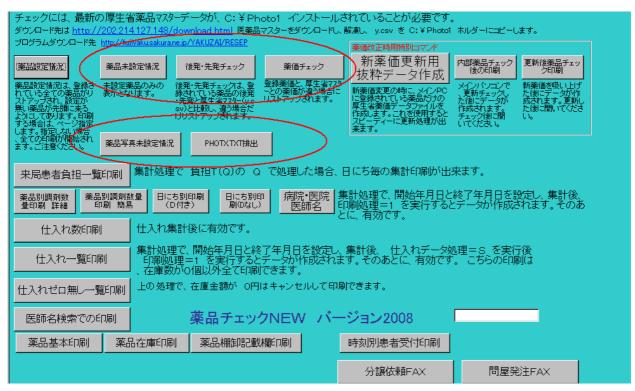
付録ファイルをダウンロードした場合、そのファイルをダブルクリックするとインストールできます。

使用薬品の元データのチェック 大変に重要です。

電子レセで使用する薬品は必ずレセプト排出前に 毎月チェックしてください。

まず、<u>処方入力プログラムの初期画面 7 の 4 登録薬品チェックリスト排出</u> を行い、登録してある薬品のデータを排出してから、薬品登録のチェックNEW(最新バージョン使用の事) を実行して下さい。「薬品未設定状況」をクリックすると、削除されている薬品リストが表示されます。 印刷は、印刷を実行します。

プログラムをインストール (CD-ROMの場合) すると、Cドライブにコピーされます。



薬品未設定情況を開き、右が側 マスターが空欄の薬品について、修正します。

未設定薬品	ロン / ・・・ 登録側コード	登録側番号	マスター側番号	マスター側コード
832 Tービオ文(6.0g)	999999			
1627 オフィス2000フ℃	123456789pari			
1320 注射用ダイアモックス	2134400D1020	642130018		
1624 写真CD-ROM	99999CDROM			
1633 PIC16F84(TX)	999999PIC			
1634 PIC16F84(R1)	999999PIC			
1635 PIC16F84(R2)	999999PIC			
1637 PIC12C509(ハカレス)	999999PIC			
1638 PIC12C509(ハカレス)	999999PIC			
1639 PIC12C509(PWM)	999999PIC			
1640 PIC16F84(プラシ27. HEX)	999999PIC			
1643 ヘツニードル32Gテーパー	ヘシニートラル32G	738010000		
1628 ウインドウス 2000PRO	999999CDRO			
1625 FDディスク	99999FDディスク			
831 ピス-T文(3Dg)	999999			
1623 ドライバーCD-ROM	999999 CD RM			
1616 藤沢市薬剤師会会誌	99999KAISHI			
1615 DVDビデオ	9999yjin3			
1614 パリの恋人DVD	123456789pari			
1613 マッキー	20050623m			
1592 USBメモリープログラム	USBメモツー			
1569 英語完全克服	222222222			

修正は、処方入力の画面から行います。

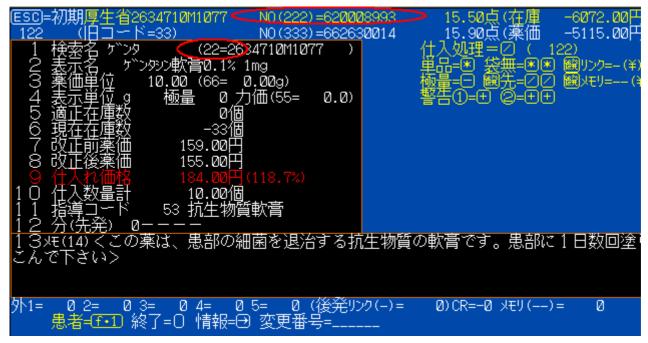
初期画面 7 から 1を選択し、薬品検索画面で、薬品を選択しますが、この時は、必ず薬品コードから検索します。

613 ウルトラファインランセット300

1623 ドライバーCD-ROM

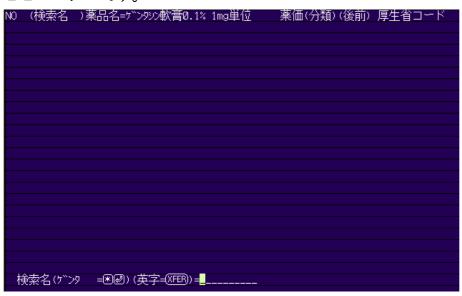
1625 FDディスク

上記の場合、1623/エンターで直接薬品を呼び出します。 (設定ミスを防ぐだめ)



画面がでましたら、厚生省薬価マスターからデータを吸い上げます(更新)

22エンターです。



この薬の場合、検索名が「ゲンタ」ですから、これでよければ *エンターします。 英文字入力は、XFER で切り替わります。

*エンターすると

NO (検索名)薬品名=ゲンタシン軟膏0.1% 1mg		i(分類)(後前)	厚生省コード
1 (ケ"ンタシンチュ) ケ"ンタシン)主40 40mg	1管 358.0	10()()	61344 0 7A2 0 71
2(ゲンタマイシン)ゲンタマイシン硫酸塩軟膏0.1%「タ	1g 9.1	0()(後発)	263471 0 M1 0 50
3(ゲンタロールテ)ゲンタロール点眼液ロ.3% 3mg	1mL 19.2	20()(後発)	13177Ø6Q1Ø97
4(リュウサンゲン)硫酸ゲンタマイシン点眼液0.3%「ニ	$1 \mathrm{mL}$ 17.3	20()(後発)	131770601100
5(ゲンタシンクリ)ゲンタシンクリー40.1% 1mg	1g 15.5	SØ()()	263471 0 N1 0 3 0
6(ゲンタシンナン)ゲンタシン軟膏ロ.1% 1mg	1g 15.5	SØ()()	263471 0 M1 0 77
7(ゲンタシンチュ)ゲンタシンシ <u>注</u> 10 10mg	1g 15.5 1管 144.0 1管 368.0	102 () ()	61344 0 7A1 0 24
8(ケ゛ンタシンチュ)ケ゛ンタシン <u>)主</u> 60 60mg	1管 368.2	102 () ()	61344 0 7A3 0 43

検索名「ゲンタ」で検索された薬品リストが表示されます。 この場合、6番目なので、6エンターとします。 これで、更新は終了です。次の薬品も更新して行きます。

修正後、**登録薬品チェックリスト排出で**データ吐き出し後に再度、上記の画面を出しチェックします。 その後、先発・後発薬価についてチェックします。

注意: 先発・後発 薬価については、マスターコードが正しく設定されていない場合、表示されません。

登録薬品の写真リンク設定について

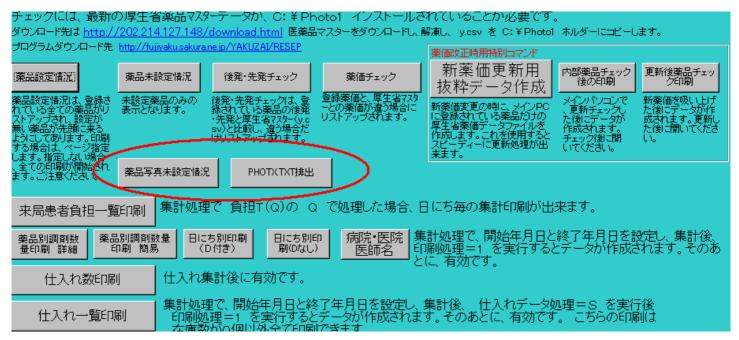
電子レセにともない、厚生省コードが新しくなった場合、写真の更新(4~5ヶ月遅れる)が追いつかず写真がリンクされない場合が多々出て来ます。また、以前に写真リンクを設定し、逆に写真のリンクが古くなった場合もリンクされなくなってしまいます。

そこで、厚生省コードチェックに、写真データも追加いたしました。

データの排出は、通常どおり行います。

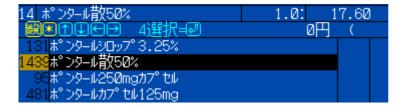
(最新プログラムで対応です、下記画面と違う場合、ダウンロードしてください)

次に、最新の「薬品チェックNEW」を使い写真とリンクしていない薬品リストを印刷表示できるようにしました。 ご活用ください。「PHTOTX. TXT」は、現在リンク先を手動設定されている薬品で、最新写真データファイル に登録されていない薬品リストをメインパソコンに作成し、一括で手動設定を解除できるファイルを作ります。



PHOTOTX.TXT排出 をクリック後

上様等で適当な薬品を検索し



薬品を検索しPを押して設定します。検索した薬品とは無関係です。



XZ解除を使うと、一括で解除できます。



XZエンターで

	3(IDU点眼液0.1%「枓研」) PC=IDU点眼/g0.1%「科研」
\triangle	 て解除=C@ 解除=1@	4m2=-cm
王		- 無視=ピー

全て解除=C を選択すると一括で解除できます。

1個ずつの場合は、1 を選択します。

1088(塩酸パパベリン) PC=塩酸パパベリン
1728(生理食塩液 100mL) PC=生理食塩液 100mL
1013(精製水) PC=精製水
384(乳糖) PC=乳糖
写真が設定されていた薬品の解除をしました。再度初期画面7の4でチェックの事_

一括解除を行った様子です。

解除が済みましたら、初期画面7 の 4で再度 設定を行います。

リスト印刷後、

画面にリンクが無い場合、自動で探します。 (以前は → で探して設定します。)

注意:リストになにも表示されない場合、写真が無いです。

画面に、「設定有りますか?」が表示され、目当ての薬品が見つかりましたら、番号を選択します。 「未設定」の表示は、設定する必要が無いか、数種類の写真がある場合です。

新規に薬価収載された薬品の場合、写真データの無い物もあります。

データとして更新されるのは約4ヶ月後位です。

下記は印刷例です。

885 ネオフィツン末	2115001X1015	2115001X1015.jpg	MAIN
1373 7/秀//点眼用 2%	1319708Q1066	1319708Q1066.jpg	MAIN
72 バスタレルトf錠3mg	2171007F1210	2171007F1210.jpg	MAIN
1614 パリの恋人DVD	123456789pari	123456789pari.jpg	MAIN
831 ピス-T文(3ቢg)	999999	99999 BIST.jpg	set
893 ビタミンE2散「三研」0.2%	3131003B2011	3131003B2011.jpg	MAIN

上様等で薬品名を検索後、カーソルで合わせた後、Pを押すと写真設定画面に移物ます。既に設定してあり未設定の常態で写真がある場合、設定の解除 / エンダーで解除できます。写真が無い場合は \rightarrow で探して番号を指定します。

印刷で MAIN と set の意味は、MAIN → なにも設定していない意味

s e t は、リンク先の設定がされていて 写真データファイルに設定されていないことを意味します。ただし、個別に写真データ登録している場合、薬袋で印刷されますので勘違いないようお願いします。

注意:写真データファイルと写真データは全く別のファイルです。単にリンクが有るか無いかの事です。

印刷プロセスは、リンク名に厚生省コードを使い、写真データファイルにリンク先が無い場合、写真データを探し、それも無い場合、その旨の表示がされます。